

三豊機工 株式会社 鹿児島工場

(生産用機械器具製造業)

(南九州市)

冷間圧造工具の総合メーカーとして「他社がやらない事をやる！・他社ができない事をやる！」をテーマに掲げ、オンリーワン企業を目指しています。

1965年(昭和40年)に愛知県で創業。品質を重視する方針により、敢えて日本国内のみで生産することとし、世界が欲しがるとされる技術・世界に誇れるMade in Japanの三豊ブランドの実現を目指し、1991年(平成3年)に鹿児島工場を操業。高品質・高精度・高耐久性を併せ持ち、他社との差別化ができる競争力のある製品を造り続け、“戦わずして世界から選ばれる”経営戦略を展開。三豊機工の製品以外では成し得ないと、お客様から選ばれる圧倒的な存在を目指しています。



本社外観

会社概要

2024年2月1日現在

■所在地 〒897-0202
鹿児島県南九州市川辺町
清水1542-1

■代表者 代表取締役
舟橋 佳孝

■設立 1991年(平成3年)4月

■TEL 0993-56-5511

■資本金 3,840万円

■FAX 0993-56-5058

■従業員数 154人

■E-Mail kagoshima@mitsutoyo.co.jp

■事業概要 冷間圧造工具の製造販売

■URL <https://www.mitsutoyo.co.jp>

■主要製品 ボルト・ナット・パーツ等の生産用金型

DOUBLE HEX(ダブルヘックス)

ダブルヘックスは、圧造工具のそれまでの常識を覆す独自のノウハウと技術を駆使して開発。等脚台形の超硬合金6個を組み合わせ、さらに六角型リングと一体化しているところから名づけられました(HEX:Hexagon=六角形)。自動車をはじめ各種機器の締結に使用されるフランジ付き六角ボルト・ナットを生産する際、発生する衝撃エネルギーをバランス良く吸収することで耐用命数が長く、圧倒的な優位性を発揮する圧造工具として世界中のボルト・ナットメーカーから高い信頼を得ています。圧造メーカーの生産の効率化、トータルコストの低減に大きく貢献しています。



DOUBLE HEX集合写真

一貫生産体制

工場は10棟から構成され、材料の切断から粗加工、熱処理、旋削・研削加工、仕上げ、コーティングまで、あらゆる圧造工具を100%内製で一貫生産出来る、業界では類を見ない生産体制を構築。生産設備においては、様々な工作機械を約500台有し、特に放電加工機、ワイヤー放電加工機、3軸・5軸マシニングセンター、多軸研削盤などの工作機械を充実させ、ハイレベルなオーダーにも対応可能な生産体制を整えています。毎期、工作機械を中心に最先端の工作機械・装置の設備投資を継続し、技術革新に磨きを掛けています。



鹿児島工場全景

自動化・省人化・効率化

EV化・自動運転など様々な技術革新のスピードは計り知れず、それ以上に変化を遂げて行かなくては企業の存続が揺らぐ環境に取り巻かれています。この流れを踏まえ、弊社は一点一様の生産形態ではありますが、可能な限り自動化・省人化に取り組んでおります。特に工作機械の自動化・夜間無人運転を推進。ATC(オートツールチェンジャー)・AWC(オートワークチェンジャー)付き工作機械等、高効率の生産設備の導入を展開。人のやるべき仕事、やらなければならない仕事、機械に任せる仕事を全工程において明確化し、高効率生産の実現に取り組んでおります。



自動化システム